

《決算の概要》

【連結】

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
24年3月期第2四半期	7,538(△9.9%)	△549(－%)	△728(－%)	△1,082(－%)
23年3月期第2四半期	8,365(4.0%)	860(35.5%)	684(65.2%)	349(26.8%)

(注) パーセント表示は、対前年同期増減率

【個別】

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
24年3月期第2四半期	6,719(△12.5%)	△635(－%)	△790(－%)	△1,084(－%)
23年3月期第2四半期	7,682(4.5%)	790(37.8%)	618(63.3%)	308(16.0%)

(注) パーセント表示は、対前年同期増減率

〈主要諸元〉

項目	24年3月期 第2四半期	23年3月期 第2四半期
原油CIF価格(ドル/バレル)	113.9	78.4
為替レート(円/ドル)	80	89
原子力設備利用率(%)	0.0	82.7

《販売電力量》

(単位：百万kWh)

	特定規模需要以外の需要			特定規模 需要	合計
	電灯	電力	計		
24年3月期 第2四半期	10,785 (△11.4%)	1,818 (△14.2%)	12,603 (△11.8%)	22,283 (△16.9%)	34,886 (△15.1%)
23年3月期 第2四半期	12,169 (9.5%)	2,118 (10.4%)	14,287 (9.7%)	26,809 (9.6%)	41,096 (9.6%)

(注) パーセント表示は、対前年同期増減率

《平成23年度業績予想》

当社は、東日本大震災による発電所の被害に加え、新潟・福島豪雨の影響により水力発電所が被害を受けたことから、今冬に向けた供給力確保に最大限の取組みを進めているところであります。通期の業績予想については、震災後低下した電力需要の回復動向や、原子力発電所の運転再開時期が不透明な状況にあるなど、依然として需給両面での不確定要素が多いことから「未定」としております。今後、一定の条件が整い、合理的な算定が可能となった段階で速やかにお知らせいたします。

《中間配当》

当社は、第2四半期決算が、経常損益、四半期純損益ともに会社創立以来最大の損失となりました。また、通期業績予想については、需給両面において不確定要素が多いことから未定としております。

こうした状況を総合的に勘案した結果、平成23年度の中間配当につきましては、「見送り」とさせていただくことといたしました。

《効率化の取組み》

当社は、現在、全社を挙げて様々な観点から最大限のコスト削減に取り組んでおります。具体的には、すでに計画していた工事・施策の取り止め、実施時期や内容の見直しなどにより、今年度は、震災前に比べて、災害復旧以外の修繕費を550億円程度、一般経費を150億円程度、設備工事費を600億円程度削減する予定であります。

今後も、震災で被災した設備の早期復旧に努めるとともに、企業グループを挙げて徹底したコスト削減をはかり、早期の収支改善に向けて取り組んでまいります。

以 上